

ニッポン画

— 過去と現在・未来をつなぐ技術 —

秋田県立美術館では、画家・山本太郎氏の講演会を開催します。古典技法を駆使しながらユーモアを交えて描く山本氏のスタイルは、「現代の琳派」とも評されています。琳派 400 年記念祭である 2015 年には、人気キャラクターで現代の風神雷神図屏風を描くなど注目を集めました。講演会では、独自の感性で編み出したニッポン画について語ります。山本氏が追求する技術を通して日本画の未来を探るとともに、日本画と西洋画を融合させて描いた藤田作品についても分析します。過去と現在、未来をつなぐ独自のスタイルと山本氏の語りをお楽しみください。

日時 平成 28 年 12 月 10 日 (土) 14 時 00 分～15 時 30 分
会場 秋田県立美術館 1F レクチャールーム



画家 山本太郎

1974 年熊本県生まれ。2000 年京都造形芸術大学卒業。2007 年 VOCA 賞、2015 年京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞。2013 年より秋田公立美術大学准教授。日本の古典絵画を現代の視点で再構成するニッポン画を提唱する。

参加無料です。電話でお申し込みを受け付けております。

秋田県立美術館 TEL.018-853-8686 FAX.018-836-0877

